

南 国 報

第 6 4 号

昭和40年2月20日

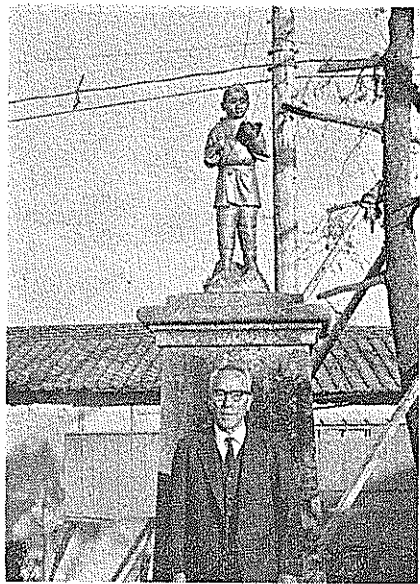
編集発行
南 国 市 広 報 委 員 会
事 務 所
高 知 県 南 国 市 役 所 内
(電 2111)
印 刷 川 北 印 刷 株 式 有 限 公 司
(電 3151)

“ 帰 国 ”

県東南アジア
経済調査団帰る

東南アジアの国々と、経済的な交流を深め
県産物の市場の開拓をはかる目的で、県と、
県商工会議所が主体となり、溝淵知事を団長
とした東南アジア経済調査団の一行は、一月
初旬高知空港を出発し、台湾、香港、ヒリッ
ピン、タイ、インドネシアなどの東南アジア
の国々を訪問し、大きな収穫を得てこのほど
帰国しました。

写真は、高知空港で帰国の出迎えを受ける
調査団の人たち、左から四人目溝淵知事、二
人目市選出の西内県議



よみがえった

二 宮 翁

心ない人のいたづらでこ
わされた日章小の二宮先生
の像が、善意ある人によっ
てよみがえりました。

その人の名は、富田敏英
さんといひ、安芸市川北で
製瓦業を営んでいます。日
章小ではこのほど富田氏を
まねき、除幕式と感謝の式
を行ないました。



▼こどものよき教育のためにある
べき像が、一夜のうちに形なく破
壊されては言語道断もはなはだし
く、いたづらにしてはあまりにも
いたましい事件である。まるで悪
さをすべしという手本をみせつけ
られては、たまったものではない。
▼ところでひとたび新聞で報
ぜられるや、各地の心ある人から
寄せられた善意はまことに頭が下
がる思いがする。これこそこども
たちに無言のおしえとなり心うれ
しいことである。▼いたづらにも
心のこもったほほえましいものと
悪のこもったいたづらがある。む
かしのいたづらには心があり、ち
かごろのいたづらには心がないと
いわれるのはどうしたことだろ
う。心に世の中を破壊しようとする
ものの要素が強いということでは
なからうか。



捨てる神あれば
拾う神もある。心
ない破壊者によっ
てこわされた二宮
尊徳翁の像はなん
のゆかりもない善
意の人によって直
ちに再建された。

2月の人口

＝1月の異動＝

出生	55	死亡	37
転入	153	転出	129
1 月末の人口	42,242		
世 帯 数			
1 月 末	11,163		